

特色ある教育活動①

少人数教育

1 小規模校型少人数指導

＜方 法＞ 児童数10名以上いる学級を2つの等質のグループに分け、担任と小規模特認校特別講師の2名で算数の指導を行う。担任は教室で行い、小規模特認校特別講師は図工室で行う。

＜ねらい＞ 通常学級在籍の発達障がい及びその傾向にある児童は、より少人数で授業を受けることで落ち着いた取組ができる。また、他の児童にとっても、よりきめ細かな指導をすることができる。

＜実施学年＞ 4年、2年 (H28…5年、H29…3・6年)

2 TT指導

○ 通常学級在籍の特に学習支援が必要な児童に対応する指導

3 一部教科担任制

○ 教科の専門性を生かす

4 SST（ソーシャルスキルトレーニング）

＜方 法＞ 毎月1回第2水曜日（基本）掃除の時間をカットして、低・中・高学年別にSST用ワークシートを活用して行う。

5 知育トレーニング

＜方 法＞ 1年の4月中の朝の計算スキルや漢字スキルの時間を活用して鉛筆の持ち方や動かし方を学習する。

少人数だからこそできること

少人数のメリットを最大限に生かす

少人数のデメリットをメリットに変える

こんな「少人数教育」を目指す